

## 北朝鮮年表

### 1945

- 8. 15 日本，連合国へ無条件降伏
- 8. 17 平安建国準備委員会結成（委員長曹晩植）。平安南道当局者（日本人から）行政権を接収，ウスク朝鮮共産党平安南道地区委員会発足。共産党組織各地で続出
- 8. 20 ソ連軍，元山に上陸
- 8. 24 ソ連軍平壤に進駐し，軍司令部を設置
- 8. 27 平安南道人民政治委員会結成，総督府から行政事務引き継ぐ
- 8. 29 ソ連軍，新義州に上陸
- 9. 2 マッカーサー司令官，北緯38度をもって，米ソ両軍の軍事境界線にすると発表
- 9. 21 ソ連軍票の使用開始
- 9. 28 玄俊嚇平安南道人民政治委員会副委員長暗殺さる
- 10. 8 北朝鮮五道人民委員会連合会開催（地方機構の統一に関する問題を討議）
- 10. 13 平壤で朝鮮共産党西北五道党責任者及び熱誠者大会開催，朝鮮共産党北部朝鮮分局を設置
- 10. 14 金日成，平壤の群衆大会に初めて姿を現わす
- 10. 28 朝・ソ交換体育大会挙行
- 11. 3 朝鮮民主党結成（党首曹晩植）
- 11. 7 咸興で学生デモ起き，ソ連軍と衝突
- 11. 11 朝・ソ文化協会結成

- 11. 16 北朝鮮司法局，布告第2号北朝鮮に施行する法令に関する件を公布，旧日本法の効力の原則的存続を宣布
- 11. 17 北朝鮮交通局を組織
- 11. 18 北朝鮮女性同盟結成
- 11. 19 北朝鮮における10局の行政局を組織
- 11. 21 教育局，教育に関する臨時措置要綱を発表
- 11. 23 新義州で学生デモ起き，ソ連軍と衝突。司法局裁判所組織に関する件を公布
- 11. 27 司法局検察所組織及び設置に関する件を公布
- 11. 28 北朝鮮五道行政局発足（委員長曹晩植）。司法局弁護士の資格，監督及び登録に関する件を公布
- 11. 30 全評北朝鮮総局結成
- 12. 13 朝鮮独立同盟の金料奉ら帰国
- 12. 17 朝鮮共産党北部朝鮮分局，第3次拡大会議で，分局責任秘書に金日成を選出
- 12. 27 モスクワで米英ソ三国外相会議，5カ年信託統治案を発表

## 1946

- 1. 1 曹晩植，モスクワ三国外相会議の信託統治提案に反対
- 1. 2 朝鮮共産党北部朝鮮分局，モスクワ三国外相会議決定を支持
- 1. 15 北朝鮮駐屯ソ連軍司令官の命で，北朝鮮中央銀行創設
- 1. 16 朝鮮民主青年同盟北朝鮮委員会結成
- 1. 29 朝鮮共産党北朝鮮分局など10団体，モスクワ三国外相会議決定案の絶対支持を表明
- 1. 30 米ソ共同委員会，第1次声明発表
- 1. 31 全朝鮮農民総連盟，北朝鮮連盟結成
- 2. 5 米ソ軍司令部代表会議開幕

2. 8 北朝鮮各政党，社会团体，各行政局及び各道，市，郡人民委員会代表拡大協議会開催 ●北朝鮮臨時人民委員会設置 ●北朝鮮天道教青友党結成
2. 9 北朝鮮臨時人民委員会の人事発表（委員長金日成，副委員長金科奉，書記長康良煜），11種目の政治大綱を採択
2. 16 朝鮮独立同盟，党名称を朝鮮新民党と改称
2. 23 北朝鮮連盟代表大会開幕
2. 24 朝鮮民主党，党首に崔庸健を選任
3. 5 北朝鮮臨時人民委員会，北朝鮮土地改革に関する法令を公布（日本人，五町歩以上所有の朝鮮人地主等の所有地・小作地を没収し，無償分配） ●北朝鮮臨時人民委員会構成に関する規定公布 ●北朝鮮臨時人民委員会の司法局，裁判所，検察所の構成と職務に関する基本原則公布
3. 20 第1回米ソ共同委員会ソウルで開催。米国代表アーノルド少将，ソ連代表スチコフ大将
3. 23 3箇条政綱発表
3. 25 北朝鮮芸術総連盟結成
3. 30 新民党結成（委員長金科奉，副委員長崔昌益，韓文武）
3. 31 北朝鮮で土地改革完了，没収土地面積100万町歩，分与農家戸数72万
4. 1 臨時人民委員会46年度予算案（11億6863万圓）を採択
4. 13 臨時人民委員会第1次拡大委員会「土地改革決算に関する決定書」を採択
4. 14 北朝鮮工業技術総連盟結成
4. 26 平壤放送局を中央放送局に改称
4. 30 北朝鮮農民銀行設立
5. 6 米ソ共同委員会，臨時政府の参加者範囲をめぐって決裂

- 5. 8 北朝鮮体育総連盟結成 ●米ソ共同委員会無期延期
- 5. 14 北朝鮮司法機関の刑事裁判に関する規定公布
- 5. 18 朝鮮共産党北朝鮮分局など米ソ共同委員会無期延期に関して声明
- 5. 19 北朝鮮全域でモスクワ三国外相会議決定案を絶対支持し、20箇条政綱に基づく朝鮮臨時政府樹立を歓迎するデモ大会行われる
- 6. 1 徳川、長山里間鉄道工事開始
- 6. 4 北朝鮮臨時人民委員会機関紙『平壤民報道』を『民主朝鮮』に改称
- 6. 8 北朝鮮臨時人民委員会、「日帝時の刑事訴訟法、犯罪即決例、裁判所構成法に関する一切の法律」を廃止
- 6. 20 北朝鮮の検察所、予審及び保安機関の刑事審理に関する法令公布
- 6. 24 8時間労働などを内容とする北朝鮮労働者及び事務員に関する労働法令を公布
- 6. 30 帰国する在日同胞118名、興南に上陸
- 7. 8 金日成総合大学創設決定
- 7. 9 旧日本法の「暫定的施行」を「暫定的参考」に改める
- 7. 10 平壤に中央气象台設置
- 7. 22 「北朝鮮民主主義民族統一戦線」結成
- 7. 23 北朝鮮新民党、北朝鮮共産党との合党を提案
- 7. 24 工業許可令公布
- 7. 30 北朝鮮男女平等権に関する法令公布
- 8. 9 公民証に関する決定書公布
- 8. 10 北朝鮮臨時人民委員会の産業、交通、運輸、通信、銀行等の国有化に関する法令公布
- 8. 28~30 共産党と新民党が合同し、北朝鮮労働党を結成（委員長金日成、副委員長金料奉、朱寧河）
- 9. 1 北朝鮮労働党綱領発表 ●党機関紙『労働新聞』発刊 ●公民証の公布開始

9. 5 北朝鮮道，市，郡，面，里人民委員会に関する北朝鮮臨時人民委員会第2次拡大委員会の決定書を採択 ●北朝鮮道，市，郡，面，里人民委員会に関する規定公布 ●北朝鮮道，市，郡，面，里人民委員会委員に関する決定書公布
9. 9 灌漑管理令を公布し，既成136水利組合を統合
9. 20 貿易委員会組織に関する決定書を採択公布
9. 23 『法令公報』発行決定
10. 4 個人所有権を保護し，産業及び商業において個人の創発性を発揮させるための対策に関する決定書公布
10. 5 北朝鮮民主青年同盟，世界民主青年同盟に加入申請
10. 11 北朝鮮記者同盟結成
10. 15 北朝鮮女性同盟，国際民主女性同盟に加入
10. 29 北朝鮮中央銀行に関する決定（中央銀行をソ連軍司令部から臨時人民委員会直屬に移管）
11. 3 北朝鮮道，市，郡人民委員選挙実施，投票参加率99.6% 賛成投票率道人民委員97%
11. 8 臨時人民委員会，民主選挙終結を承認する決定書公布
11. 25 労働党中央委員会月刊理論誌『勤労者』創刊 ●北朝鮮産業及び商業の発展に関する法令公布
12. 5 北朝鮮通信社，臨時人民委員会直屬機関として設立 ●北朝鮮産業及び商業の発展に関する法令公布
12. 18 北朝鮮学校教育に関する規定及びその実施措置に関する決定書（人民学校5年，初級中学3年，高級中学3年などと教育体系を改編する）
12. 19 社会保険法を採択，公布
12. 26 北朝鮮臨時人民委員会，決定139号として，日本から帰国する朝鮮人民に関する件を採択，公布

## 1947

1. 7 北朝鮮面及び里（洞）人民委員会の選挙に関する件を公布
1. 14 判事選挙に関する決定書公布
1. 25 中央民青学院開設
2. 3 商業局，商店許可制実施に関する決定書公布
2. 4 北朝鮮人民委員会代表大会召集に関する決定書公布
2. 8 中国延辺地区朝鮮族人民，臨時人民委員会樹立1周年を記念して，慶祝大会を行い，メッセージを送ってくる
2. 17 道，市及び郡人民委員会大会召集，1159名代表を集め開催
2. 17～20 道，市及び郡人民委員会を開催
2. 19 同人民委員会で，金日成委員長「1947年北朝鮮経済発展について」報告し，米ソ共同委員会の速やかな再開を要請 ●北朝鮮人民会議創立に関する北朝鮮人民委員会大会決定書採択
2. 20 北朝鮮人民会議に関する規定及び北朝鮮人民会議代議員選挙手続きに関する規定採択 ●人民会議代議員選挙実施
2. 21 北朝鮮第12次人民会議開幕 ●北朝鮮人民会議創立に関する北朝鮮人民委員会大会決定書採択（議長金科奉，書記長康良煜）
2. 21 北朝鮮臨時人民委員会の事業決算報告に関する北朝鮮人民会議の決定書採択 ●北朝鮮人民委員会に関する規定採決 ●人民委員会委員長として金日成を選出
2. 21～22 第1次人民会議，人民経済復興発展計画を採択
2. 22 北朝鮮人民委員会成立（委員長金日成） ●北朝鮮の裁判所及び檢察庁に関する規定採択 ●北朝鮮人民会議，最高裁判所判事及び檢察所長を選挙
2. 24～25 里人民委員会選挙
3. 5 面人民委員会委員選挙 ●北朝鮮駐留ソ連軍司令官チスチャコフ大将辞任し，コルトコフ中将就任

3. 24 北朝鮮人民委員会, 北朝鮮道, 市, 郡, 面, 里人民委員会に関する規定実施要綱及び定員に関する決定書公布
4. 1 世界職業連盟代表団, 来朝。金日成, 一行を接見(2日)
4. 11 マーシャル米国務長官, モロトフソ連外相に米ソ共同委員会の再開を提案
4. 19 モロトフソ連外相, 米ソ共同委員会5月20日開催(ソウル)を提案
4. 26 北朝鮮各政党など, モロトフ提案支持を声明
5. 21 第2次米ソ共同委員会開催(米:ブラウン少将, ソ:スチコフ中将)
6. 11 米ソ共同委員会, 共同声明第11号(南北政党, 社会団体との協議に関する規定)などを発表
6. 16 各政党, 社会団体(35個)を決定し, 代表に金日成を選出
6. 24 日帝時の度量衡を廃止し, メートル法を実施
6. 29 愛国歌制定
6. 30 米ソ共同委員会, 米首席代表ブラウン少将, 平壤着
7. 1 米ソ共同委員会, 平壤公開会議始まる
7. 10 第2次米ソ共同委員会, 事実上決裂(ソ連, 反信託運動参加団体の政党, 社会団体24の排除を主張)
7. 19 牡丹峯野外劇場竣工
7. 31 米首席代表ブラウン少将, 反信託運動参加団体の政党, 社会団体を擁護する声明発表
8. 7 米首席代表ブラウン少将, ソ連, 反信託運動参加団体認めずの提案を全面的に拒否
8. 12 米マーシャル長官, モロトフソ連外相に米ソ共同委員会の再度開催を提案
8. 23/4 モロトフソ連外相, モスクワ協定反対者とは協議不可能と, 米国に回答
8. 26 ロバット米国務次官(代理), 朝鮮臨時政府樹立に関する問題を米,

- ソ、英、中の4カ国会議に付するとソ連に提案
9. 4 ソ連モロトフ外相、ロベット提案について反対を表明
  9. 17 米マーシャル長官、モロトフソ連外相に朝鮮問題解決のため、国連での討議を提案
  9. 23 第2回国連総会で、米国、朝鮮問題の討議を提案し、採択
  9. 26 ソ連代表、朝鮮問題は従来の米ソ共同委で討議し、米ソ軍隊の同時撤退を声明
  10. 18 米首席代表ブラウン少将、米ソ共委休会を提案し、ソ連代表、21日にソウルから帰国
  11. 1 職業総同盟、職場、地区委員会で選挙開始
  11. 4 米国、国連政治委員会で朝鮮問題解決のため、1948年3月31日まで選挙が行われるべきとの決議案提出
  11. 5 オーストラリアなど10カ国を構成員とする国連臨時朝鮮委員会を採択
  11. 12 北朝鮮労働党など各種社会団体、11月5日の国連臨時朝鮮委員会採択の絶対反対を声明
  11. 14 国連総会、臨時朝鮮委員会の設置案採決
  11. 15 北朝鮮での耕地面積実態調査事業、完了
  11. 18 第3次朝鮮人民会議で、金科奉議長の「朝鮮臨時憲法制定準備に関する報告を討議
  11. 19 人民会議、朝鮮臨時憲法制定委員会及び朝鮮法典作成委員会を組織
  11. 20 朝鮮臨時憲法委員会、12月15日まで草案作成を決定
  11. 30 北朝鮮職業総同盟、17産別35万5000名を組織
  12. 6 貨幣改革を実施し、新貨幣に切り替え

## 1948

1. 8 国連臨時朝鮮委員会メンバー、ソウル到着



1. 23 北朝鮮駐留ソ連軍，国連臨時朝鮮委員会の入国を拒否
1. 25 李承晩，韓国のみ選挙もやむを得ない，と強調
1. 27 金九，韓国のみ選挙に反対し，米ソ両軍の撤退後での自由選挙を主張
1. 28 1948年度人民経済発展計画を決定
1. 31 民青代表团，カルカッタでの東南アジア青年大会に参加のため，出国（共産圏以外では最初）
2. 1 清津鉄道管内の鉄道労働者，輸送力増強運動を開始
2. 4 人民委員会，民族保衛局設置を採択
2. 7 人民委員会，48年予算案を採択
2. 8 朝鮮人民軍，創設
2. 10 朝鮮民主主義人民共和国憲法草案，発表
2. 13 北朝鮮民戦，共和国憲法草案の大規模宣伝と人民への定着問題を論議
2. 26 国連小委員会，米国による「可能な地域での選挙方法」を可決
3. 9 金日成，民戦第25次中で，南朝鮮単独選挙に絶対反対と演説
3. 10 各工場や企業での労働者，南朝鮮単独選挙反対で総決起
3. 12 国連臨時朝鮮委員会で，「可能な地域での選挙方法」を表決
3. 14 南朝鮮単独選挙反対と国連小委員会決議反対をスローガンに，各地で反対大会開催
3. 27 北朝鮮労働党第2回全党大会開催，75万名の党員から999名参加し，平壤で4日間開催
4. 1 全朝鮮政党，社会团体代表者連席会議を前に，組織準備委員会（委員長朱寧河）結成
4. 3 清津製鋼所転炉操業開始
4. 20 南北朝鮮政党，社会团体代表者連席会議，平壤で開幕。金九，金奎植など，5月5日まで滞在

4. 21 56党、団体の関係者545名参席する第2日南北連席会議で、金日成は北朝鮮情勢、南関係は朴憲永と白南雲が報告
4. 23 第4日会議で、南朝鮮単独選挙反対と米ソ駐屯軍の撤退などを決議
4. 28 人民会議特別会議開幕し、朝鮮民主主義人民共和国憲法草案を可決(29日)
4. 30 南北朝鮮諸政党、社会指導者会議を開催し、南朝鮮単独選挙反対と米ソ駐屯軍の撤退などの決議共同声明発表
5. 1 第1四半期の経済計画事業、110%遂行と発表
5. 5 文盲退治運動始まる
5. 6 李文煥産業局長、南で単独選挙を行うならば、北からの送電は中断と声明
5. 7 ソ連軍司令官、金日成人民委員会議長に、ソ連軍は米軍と同時に、いつでも撤退できると伝達
5. 14 対南送電中断
6. 1 人民委員会、280種の生活必需品価格の15~50%ほど引下げを決定
6. 7 ソ連駐屯軍の縮小計画とともに、司令官コロトコフ中將の帰国と、メロクロフ少將の新就任を発表
6. 23 南浦造船所労働者、450トンの鉄鋼船、新興号の進水式を挙行
6. 27 黄海道亀岩及び礼義貯水池の灌漑用水を38度以南の延白郡農民たちに給水
6. 29 南北朝鮮諸政党および社会団体指導者協議会開幕(7月5日閉幕)
7. 10 人民会議第5次大会で、朝鮮民主主義人民共和国憲法を北朝鮮全域で実施することを決定 ●最高人民会議代議員選挙を決定
7. 18 金科奉人民会議議長、太極旗を廃止し、新国旗制定について談話
8. 25 最高人民会議代議員選挙実施。投票参加者(99.97%)賛成者(98.49%)
9. 2 朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第1期第1回大会、572名の

## 参加の下で開催

- 9. 8 朝鮮民主主義人民共和国憲法草案を採択 ●最高人民会議常任委員会選出（委員長＝金科奉，書記長＝康良煜） ●共和国政府首相に金日成任命。副首相に朴憲永，金策，洪命熹を選出
- 9. 9 朝鮮民主主義人民共和国樹立 ●内閣名簿（首相金日成，副首相に朴憲永，金策，洪命熹）と最高検察総長の人事を承認
- 9. 10 金日成首相，共和国政綱を発表
- 9. 14 最高人民会議常任委員会の機関紙として『民主朝鮮』を決定
- 9. 22 金日成首相，ソ連軍撤退に関してスターリン首相に感謝の書簡を送
- 9. 25 平壤機械製作所，南浦金属工場など，年間生産計画超過達成と報道
- 10. 4 ソ連軍撤退のための歓迎委員会，中央と道，市，郡などで結成
- 10. 5 夜間通禁，解除
- 10. 12 スターリンソ連首相から金日成首相に，両国外交関係樹立の書簡到達 ●北朝鮮通信社を内閣直属の朝鮮中央通信社に改称
- 10. 16 駐北朝鮮ソ連大使にト・プ・スチコフ（北朝鮮駐屯軍司令官）任命さる。ポーランドとの外交関係発足
- 10. 19 ソ連軍帰国第1便，平壤駅を出発
- 10. 21 チェコ・スロバキアとの外交関係発足
- 10. 27 ルーマニアとの外交関係発足
- 10. 29 ソ連大使に朱寧河（交通相）を任命
- 11. 10 北朝鮮民青第3次大会参加のため，中国新民主主義青年同盟一行来朝 ●共和国樹立を祝う中国東北地区朝鮮人代表団，平壤到着
- 11. 11 ハンガリーとの外交関係発足
- 11. 20 公民証公布及び身分登録事業，全土で一斉に開始
- 11. 29 ブルガリアとの外交関係発足
- 12. 1 海州セメント工場電気回転炉，火入れ式

12. 9 朝鮮民主主義人民共和国樹立を慶祝するため、在日朝鮮人一行来朝。  
 ●北朝鮮労働党中央委第4次大会、経済成果とソ連援助について討論
12. 26 北朝鮮駐屯ソ連軍、25日に全軍撤退と発表

## 1949

1. 10 金日成首相、共和国樹立の慶祝のために来朝した在日朝鮮人代表と  
 会見
1. 11 城津製鋼、機関車車輪を労働者だけで製作
2. 1 最高人民会議、1949～50年の2カ年経済計画に関する法令、採決  
 ●中国吉林省朝鮮族から祖国統一と発展を願う書簡到来
2. 9 朴憲永外相、共和国の国連加盟を要請する電報をリー事務総長に発  
 送
2. 13 民青代表、レーニン共産青年同盟大会参加のため訪ソ
2. 22 訪ソ政府代表団（団長＝金日成首相）出発
3. 5 スターリン首相、金日成一行を接見 ●農民同盟第4次大会開幕
3. 30 道、市、郡など人民委員会代議員選挙、実施。代議員5853名選出。  
 道及び平壤の投票参加率94.98%、賛成投票率98.75%
4. 2 北朝鮮職業総同盟、南朝鮮全評代表、ソ連職業総同盟第10回大会参  
 加のため、平壤出発
4. 5 民青代表団、北京での新民主主義青年団代表大会に参加するため、  
 出発
4. 9 平和擁護世界大会参加代表団（団長＝韓雪野）パリに出発
4. 19 最高人民会議第3次会議で、財政相1948年決算と49年予算について、  
 報告
4. 20 黄海道安岳郡で高句麗壁画の古墳発見
5. 5 韓国春川駐屯軍、2個連隊北朝鮮に帰順

5. 24 興南窒素で日産80トンの硫酸生産開始
5. 25 「祖国統一民主戦線」結成準備委員会開催
6. 5 水豊ダム, エプロン工事竣工
6. 25 祖国統一民主戦線結成大会, 南北朝鮮71政党などの参加で平壤, 牡丹峯劇場で開かる
6. 28 祖国統一民主戦線結成大会最終会議で, 綱領などのほか金日成首相以下の中央委員を選出
7. 9 祖国統一民主戦線の機関紙『祖国戦線』を発刊
7. 24 中国, 延辺大学教授一行7名来朝
8. 17 ソ連平和擁護大会参加のため, 最高人民会議議長訪ソ
9. 29 中国平和擁護大会参加のため, 女性同盟委員長, 北京に出国
10. 6 中国周恩来外相より, 北朝鮮政府との外交関係歓迎との電報, 到着
10. 8 祖国統一民主戦線中央委員会, 38度線付近の武装衝突調査報告書を国連に発送
11. 7 東ドイツとの外交関係発足
11. 25 全域で里人民委員会代議員選挙行われ, 5万6113名選出
12. 3 全域で面人民委員会代議員選挙行われ, 1万3354名選出
12. 22 中国初代大使に李周淵を任命
12. 25 北朝鮮と中国との郵便協定締結

## 1950

1. 9 祖国統一民主戦線中央委員会第4次大会で, 祖国統一のメッセージ発表
1. 25 ベトナム民主共和国との外交関係発足
2. 1 政治経済アカデミー開院式
2. 7 阿吾地石炭化学工場, 最初にメタノールを製造
2. 16 朝鮮語文研究会, 『朝鮮語文法』を発刊 ●最高人民会議第5次会

議で、崔昌益財務相、1949年決算と50年予算案を報告

3. 3 刑法，刑事訴訟法及び裁判所構成法制定
3. 22 女性同盟委員長朴正愛，国際女性同盟委員会参加のため，ヘルシンキに出国
4. 1 国立建設銀行，全国一斉に開業
5. 10 朝・ソ航空株式会社，平壤－清津，平壤－咸興，平壤－元山，平壤－ウラジオストック航路を開設
5. 15 総額15億円もの人民経済発展債券，発売
6. 9 祖国戦線中央拡大委員会，平和的祖国統一方策のアップール発表
6. 19 最高人民会議常任委員会，祖国戦線中央委員会の要請を受けて，最高人民会議と韓国の国会を統合した一つの立法機関設立を採択
6. 20 内閣，人民経済3カ年計画の作成を採択
6. 25 38度線で大規模軍事衝突起り，朝鮮戦争勃発
6. 26 軍事委員会（委員長＝金日成）発足
6. 27 最高人民会議常任委員会，戦時状態に関する政令を採択
7. 1 国土全域に動員令実施。米国の武装介入を阻止するため，各種団体，世界の民主団体にアップール
7. 2 国際民主法律家協会，米国の干渉は国連憲章違反と声明
7. 4 最高人民会議常任委員会，金日成首相を人民軍最高司令官に任命
7. 14 最高人民会議常任委員会，南半部解放地域の郡，面，里（洞）での人民委員会選挙政令を採択
7. 16 南半部土地改革指導委員会第1次会議開催，道，市，郡などに土地改革実施委員会を組織
7. 24 第2次世界学生大会参加のため，学生代表団プラハに出国
8. 14 祖国戦線中央委員会，朝鮮に対する米国の武力干渉の即刻中止と，外国軍隊の即時撤退を，国連に要請
8. 18 祖国戦線中央委員会，米国の武力干渉に関する調査報告書第1号発

## 表

8. 21 最高人民会議常任委員会、軍事裁判に関する規定を採択 ●金料奉  
最高人民会議議長、中国人民代表団を招待
9. 9 姜健人民軍総参謀長戦死
9. 30 内閣、南半部地域での土地改革実施総括を発表
10. 11 金日成人民軍総司令官、将兵、男女に徹底抗戦を放送
10. 19 国連軍、平壤を占領
10. 25 中国人民志願兵、戦闘に参加
11. 12 軍事委員会命令第001号で、役畜の屠殺を一切禁ずる布告発表
11. 26 朴外相、占領地域での米軍蛮行に対する抗議を国連議長に発送
12. 7 朴外相、米軍の無差別爆撃に対する抗議文を国連議長に発送
12. 10 人民軍、平壤に入城
12. 12 祖国戦線傘下の政党などの各種団体、中国人民軍志願部隊に対する  
感謝メッセージを中国各政党に発送
12. 21 朝鮮労働党中央委員会第3次大会開催
12. 28 最高人民会議常任委員会、命令なく武器を捨てた軍務者を処罰する  
政令を採択

(法律関係の年表については特に藤井新委員のご助言を得た)